

今後の検討の方向性と進め方

最上地域全体に波及効果をもたらす「道の駅」イメージ



検討会の在り方 (案)

新庄 I C 付近「道の駅」検討会 (仮称)

最上 8 市町村を中心とした検討の場

- ※メンバーは継続を基本として 8 市町村で協議
国や県の助言を受けながら進める
- ※令和 4 年度以降の検討会
 - ・作業部会で具体的な調査・研究を実施
 - ・検討会は作業部会の進捗に応じて開催



新庄もがみのランドマーク
検討協議会
新庄商工会議所
もがみ北部商工会
もがみ南部商工会

- ※時期を見て他の経済界の参加も
地域の農林業団体・経済界

👉 「道の駅」運営の在り方を検討 [設置者・管理者を想定しながら]

必要な
機能

設置場所

施設規模

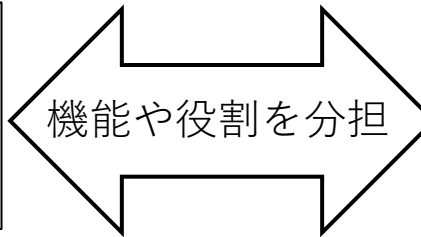
「新庄IC付近道の駅」に必要な機能（案）

○新庄IC付近は、高規格道路の縦軸と横軸が交差する交通の要衝であり、最上地域の「玄関口」として期待。

○新庄IC付近に計画する道の駅は、この「玄関口」として必要な機能を有するとともに他の道の駅と機能や役割を分担し効果的に連携。



新庄IC付近道の駅



機能や役割を分担



各市町村の道の駅
（とざわ）など



必要な機能イメージ

- ・ 基本的な機能（休憩機能・情報発信機能・地域連携機能など）
- ・ 最上地域各所への観光周遊機能
- ・ 広域防災拠点機能
- ・ 広域物流拠点機能



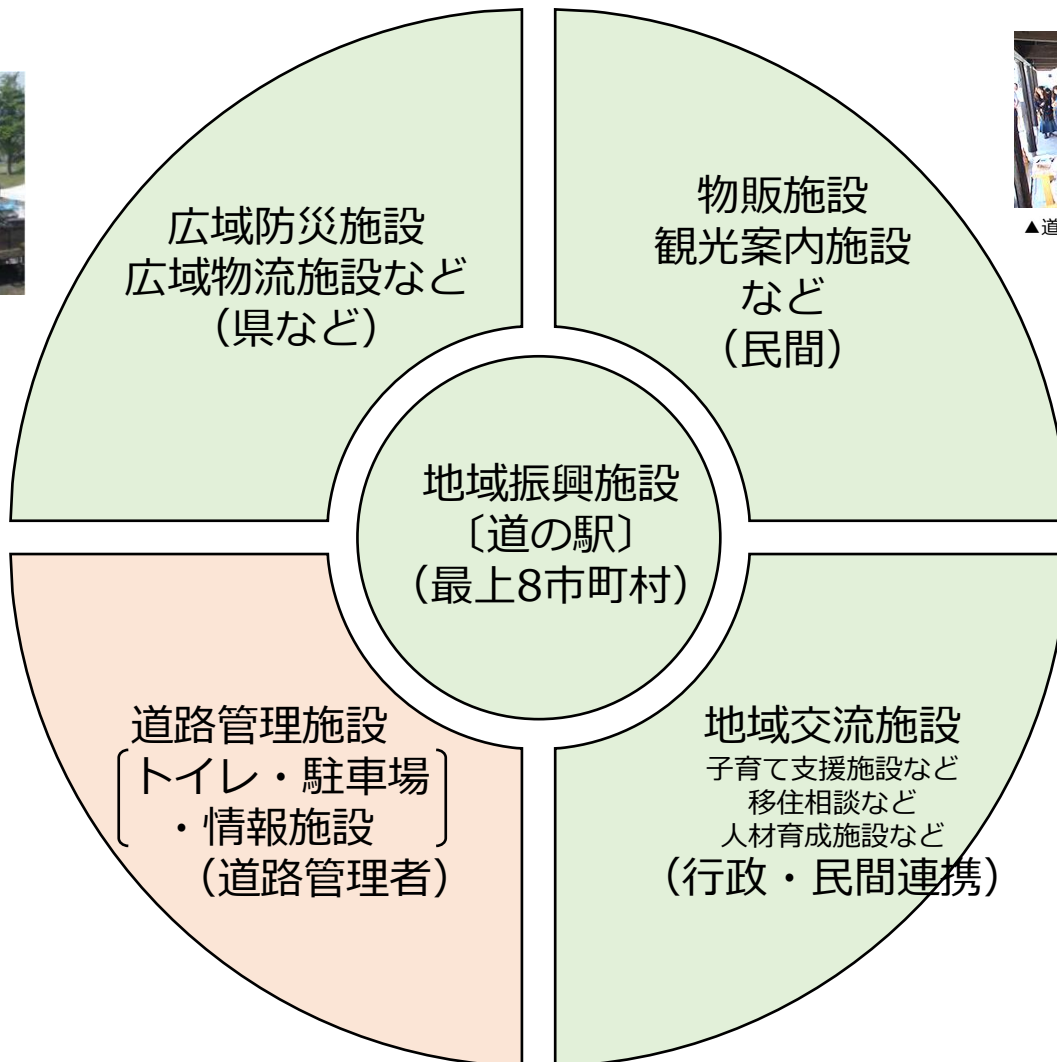
<スポット紹介のイメージ>

必要な機能（施設）、役割分担イメージ（案）

- 道の駅を核として、必要な機能（施設）について、まずその目的と効果、及び役割分担について検討を進めていく。



▲大規模災害時の救援イメージ



▲道の駅「あつみ」物販



▲道の駅「鳥海」



▲道の駅「パレットピアおおの」内に
ある子育て支援施設
(岐阜県揖斐郡大野町)

検討会の進め方 (案)

R4.3.24

新庄 I C 付近「道の駅」検討会

- ・ 検討会の名称、規約、委員の決定 作業部会の設置
- ・ 役員選出
- ・ 今後の進め方、I C 付近の状況の確認

R4年度

同 検討会の作業部会

- ・ 設置候補地の検討 ★事業スキーム(整備手法、運営方法等)を検討
- ・ 必要な機能と施設規模の検討 ★8市町村が求める機能を検討
- ・ 地域連携機能の検討 ★ランドマーク検討協議会の検討と情報共有

定期的
に開催

メンバー

8市町村、
商工団体、
国、県

新庄 I C 付近「道の駅」検討会

- ・ 設置場所の候補を絞り込む
- ・ 必要な機能や施設規模、事業スキームについて共通認識を図る
- ・ 地域連携機能の施設や規模、事業スキームについて共通認識を図る

進捗に応
じて開催

